



第5期宮前区区民会議 第3回会議

みんなで力を合わせてくらしやすい地域社会をつくろう

平成26年10月30日(木) 18:00

宮前区役所4階大会議室

次 第

- 1 開会あいさつ(事務局)
- 2 川崎市 新たな総合計画の策定について(川崎市総合企画局)
- 3 議事
 - (1) 審議経過報告①(仮称)高齢者問題に関する取り組みの部会
 - (2) 審議経過報告②(仮称)魅力発信と次世代まちづくりの部会
 - (3) 部会審議内容についての質疑応答・意見交換
 - (4) 区民会議フォーラムについて
 - (5) その他
- 4 その他の連絡事項

今後の主な日程

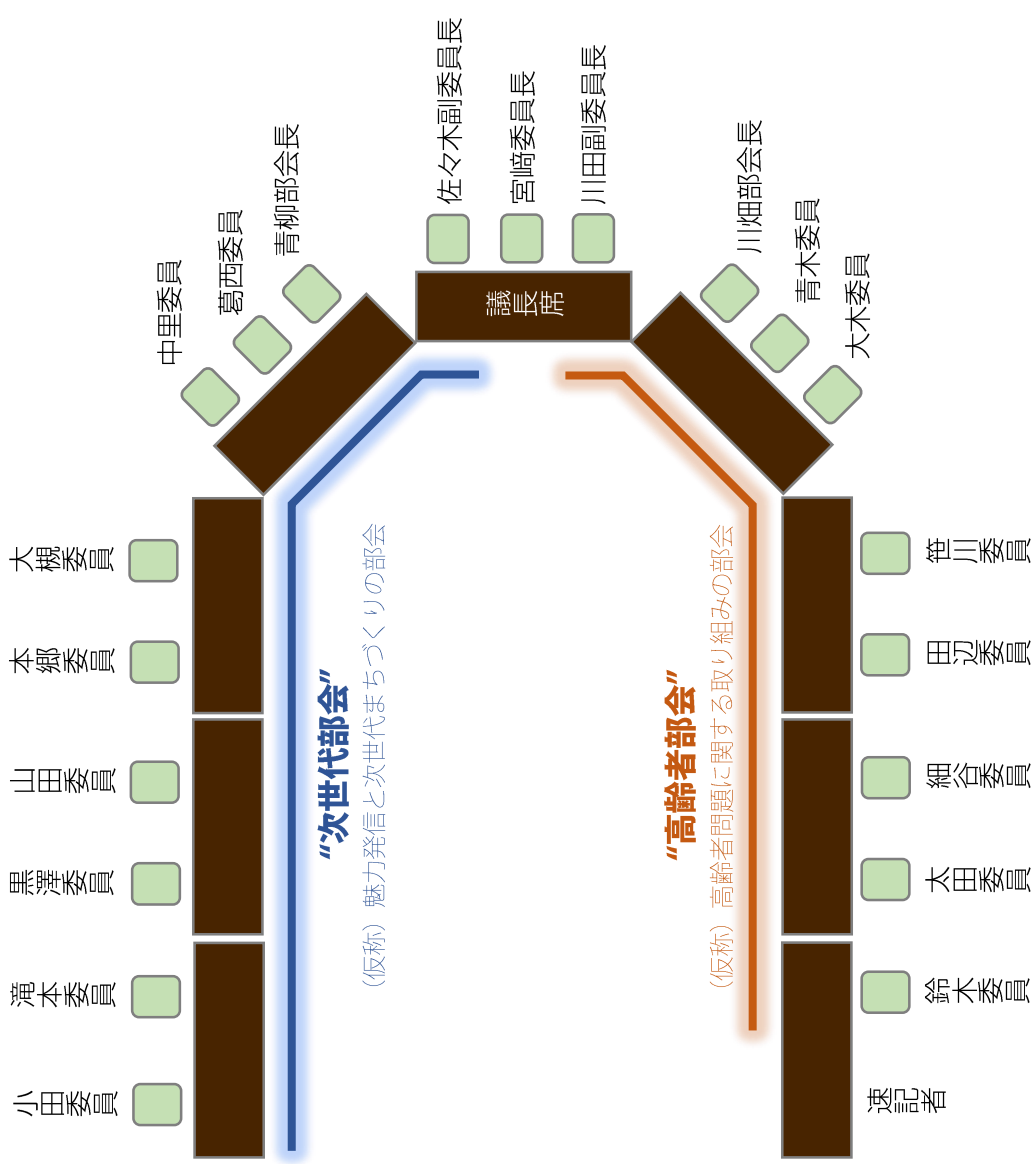
- 第3回高齢者部会 11月13日(木) 18:00~20:00/区役所第3会議室
- 次世代部会バスツアー 11月中旬実施予定
*後日メール等にてご連絡いたします
- 第4回全体会 27年1月下旬~2月上旬
*部会進行状況により調整いたします
- 区民会議交流会 27年2月9日(月) 18:00~19:30/エポックなかはら

配布資料目次

- P1 座席表
- P2 第5期宮前区区民会議 委員・参与・事務局名簿
- P3 審議経過報告①(仮称)高齢者問題に関する取り組みの部会
- P7 審議経過報告②(仮称)魅力発信と次世代まちづくりの部会
- P11 区民会議フォーラム 企画素案

第5期宮前区区民会議 第3回会議 座席表

平成26年10月30日 宮前区役所4階大会議室



小田委員

滝本委員

黒澤委員

山田委員

本郷委員

大槻委員

事務局

安河内
企画担当係長
小山
企画担当係長
秋山
企画課長

古村
区民サービス部長
堤
向丘出張所長

青山
こども支援室長
田村
道路公園センター
所長

傍聴・報道

野本
宮前区長
豆白
副区長
岩佐
総務課長

益子
保健福祉センター
所長
鹿保
保健福祉センター
副所長

山田
生涯学習支援課
担当部長

傍聴・報道

参与

参与

参与

傍聴・報道

中里委員

葛西委員

青柳部会長

佐々木副委員長

宮崎委員長

川田副委員長

川畑部会長

青木委員

大木委員

笹川委員

田辺委員

細谷委員

太田委員

鈴木委員

出入口

出入口

第5期宮前区区民会議 委員・参与・事務局名簿

所属部会			肩書	氏名	所属団体	新・再
企画	高齢者	次世代				
●	●		副委員長	川田 和子	宮前区自主防災組織連絡協議会	新任
	●			青木 寅治	社会福祉法人宮前区社会福祉協議会	新任
	●			大木 次郎	宮前区スポーツ推進委員会	新任
		●		葛西 育子	宮前区子ども・子育てネットワーク会議	新任
		●		中里 文雄	宮前区民生委員・児童委員協議会	新任
		●		大槻 幹雄	宮前区地域教育会議	再任
		●		本郷 一雄	グリーンフォーラム21 みやまえ世話人会	再任
●			委員長	宮崎 孝	宮前区商店街連合会	再任
	●			笹川 進	宮前区文化協会	新任
		●		山田 桂	宮前区全町内会・自治会連合会（宮前地区）	新任
		●		黒澤 克寛	宮前区全町内会・自治会連合会（向丘地区）	新任
	●			田辺 洋一郎	宮前区まちづくり協議会	新任
	●			細谷 章子	宮前区まちづくり協議会	新任
		●		滝本 久美	みやまえ情報ラボ	新任
●	●		部会長	川畑 武敏	公募	新任
●		●	部会長	青柳 和美	公募	新任
	●			太田 公子	区長推薦	再任
●		●	副委員長	佐々木 良司	区長推薦	再任
	●			鈴木 晴夫	区長推薦	新任
		●		小田 育子	区長推薦	新任

参 与

市議会議員	浅野 文直	石川 建二	石田 康博	織田 勝久	添田 勝
	竹田 宣廣	田村 伸一郎	矢澤 博孝	山田 晴彦	
県議会議員	飯田 満	土居 昌司	持田 文男		

事 務 局

宮前区長	野本 紀子	副区長	豆白 保雄
総務課長	岩佐 弘司	企画課長	秋山 敏之
区民サービス部長	古村 重穂	向丘出張所長	堤 健一郎
保健福祉センター所長	益子 まり	保健福祉センター副所長	鹿俣 和氏
こども支援室長	青山 正彦	道路公園センター所長	田村 考司
生涯学習支援課担当部長	山田 友之	企画課企画調整担当係長	小山 貴志
企画課まちづくり支援担当係長	安河内 豪太郎		

平成26年4月1日現在

第1回（仮称）高齢者問題に関する取り組みの部会

日時：平成26年9月25日（木） 18：00～19：30

場所：宮前区役所4階第2会議室

進行：宮崎委員長（仮部会長）

1 出席確認

出席委員：宮崎（仮部会長）、笹川、細谷、川畑、太田、鈴木（計6名）

欠席委員：川田、青木、大木、田辺（計4名）

2 審議テーマとなる地域課題、課題解決策の検討

（1）審議の進め方について（事務局から説明があり、確認した事項）

- ① 審議課題は任期の1年以内に絞り込みたい。
- ② 絞り込んだテーマに関するイベントや試行的取り組みの実施を目指す
例：フォーラムへのイベント組み込みなど
- ③ 勉強会・事例見学会・アンケートなどの勉強会、現状調査を行う。
※できるだけ早め、第3回専門部会など。

（2）意見交換：審議テーマに関する現状、課題、解決の方向性・区内事例等
→P6のとおり意見集約

3 部会長の互選

出席者少数の為、次回以降に持ち越し。

4 今後の日程

第2回 10月14日（火）18：00～ 区役所4階第1会議室

※欠席予定：太田委員

※太田委員が社協関係で集められる情報があれば提供する。

※地域包括ケアシステムについて、行政担当部署からの現状ヒアリングが可能であれば、盛り込む。

※専門部会の開催時間は今後も原則夜間。18時以降で調整していく。

第2回（仮称）高齢者問題に関する取り組みの部会

日時：平成26年10月16日（木）18：00～20：20

場所：宮前区役所4階第4会議室

進行：川田副委員長（仮部会長）

1 出席確認

出席委員：宮崎、川田、青木、大木、川畑、笹川、田辺、細谷、（計8名）

欠席委員：鈴木、太田（2名）

2 第1回（仮称）高齢者に関する取り組みの部会摘録の確認

事務局から摘録の説明があり、前回の部会での議論、意見の振り返りを行った。

3 高齢者福祉、地域包括ケアシステムについて

宮前区役所高齢・障害課小山課長から、資料に基づいて、「川崎市介護保険執行状況」「（仮称）川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」の説明があった。

4 具体的な課題解決への提案を検討

主な意見をP5、第1・2回の意見のまとめをP6に掲載

5 部会長の互選

互選により、川畑委員を部会長として選出した。

6 今後の日程

第3回全体会 10月30日（木）18：00～ 区役所大会議室

※部会長からこれまでの部会審議の経過報告を行う。

※可能であれば、全体会前に部会長、委員長、副委員長による企画部会を開催し、全体会の進め方等確認する。

具体的な課題解決の検討 第2回部会での主な意見

○=新たな意見・指摘 ●第1回での意見・指摘等を補強する意見

宮前区の背景・現況など

- 男性の市町村別平均寿命が全国2位の宮前区。
- 地域包括ケアシステムの確立
 - ・ 4重点施策 ①様々なサービスの充実（特に在宅） ②認知症対策の推進 ③地域ケア会議の推進 ④生活支援サービスの充実
 - ・ ゆくゆくは中学校区程度の範囲地域での確立を目指す。
 - ・ 区役所、地域ケア連絡会議、地域包括ケア連絡会議の三段階構想。
 - ・ 各区一名の在宅療養調整医師を任命している。
 - ・ ビジョンの素案が示された段階。具体的な取組、財源、内容、主体等、全てまだまだこれから。
- 土橋・野川などの地域は、住民の結びつきが強い。

宮前区の課題

- 認知症対策が重要。区の施策を踏まえて取り組みたい。
- 実際に困っている人の実態把握。50代男性が仕事を辞めて親の介護をしているケースなど。
- 無報酬のボランティアに頼ることは制度的な脆弱性を抱える。
- 拠点づくりは、リーダーや担い手、人によるところが大きい。
- 新たな人が参加しやすい雰囲気、活躍できる受け皿づくり。地域デビューしにくい男性高齢者。
- 新たな市民活動団体が生まれてきていない。既存活動団体のメンバー固定化と高齢化。

課題解決の方向性

- 聖マリアンナ医科大、日医大の専門部署と連携した認知症対策の推進
- 「逆介護（状態の改善に対するインセンティブ報酬）」のしくみの導入
- 参加したくない人にも、「いざという時のための場所」としての認知を広める
- 新たな人材の発掘。（参加している人に新たな役割を付加するのではなく）
- 拠点（居場所・たまり場・相談場所）をつくり、情報をつなぎ、人材を掘り起こす
- ワンストップの相談・情報拠点→包括が位置づけられているが、定着・認知不足。
- 土橋カフェのような拠点を増やしていく

区内の事例など

- 長尾住宅いきいき組合
- 「よりそいノート」…在宅要支援者の情報共有。川崎市版作成
- 全国的な先進事例である「土橋カフェ」→潮見台、犬蔵でもカフェ立上げ計画
- 「野川セブン」も地域の居場所づくりの先進事例で認知症対策にも実績

(仮称) 高齢者問題に関する取り組みの部会 第1回(9/25)・第2回(10/16) 部会審議のまとめ

■ 背景・現況など

- 「川崎らしい都市型の地域包括ケアシステム」の推進(今後)
- 介護保険制度改正 要支援1・2→給付対象外(来年度)・負担増の可能性(今後)
- 高齢化の進行・男性市町村別平均寿命全国2位 元気高齢者が多い?
- 高齢者施設の多い宮前区 独身寮を改造した老人ホームなど
- 地域性の違い 野川・宮前・菅生それぞれの地域性、ご近所づきあい。

地域包括ケアシステムの現状(10/16高齢・障害課担当者ヒアリング)

重点施策 ①様々なサービスの充実(特に在宅) ②認知症対策の推進
③地域ケア会議の推進 ④生活支援サービスの充実

- ・区役所、地域ケア連絡会議、地域包括ケア連絡会議の三段階構想
- ・中学校区程度の地域でシステムの確立を目指す
- ・在宅療養調整医師(区ごとに1名)の任命
- ・ビジョンの段階。取組、財源、内容、主体、全てこれから。

■ 課題

- 「宮前区版地域包括ケアシステム」
地域に即した公民連携型のしくみの構築
- 独居高齢者支援 個人情報の有効活用、
日常在宅サービス、有事対応、介護予防など
- ひきこもり予防 外出・地域参加・施設
利用の機会創出。個々の性格や性分への対応
- 認知症対策・予防 高齢化と共に深刻
- 地域の担い手の高齢化 固定化・高齢
化・活動停止、リーダーや新規団体の不在
- 善意ボランティアの限界 責任範囲
や活動継続の困難性、しくみとしての脆弱性
- 介護者支援 老老介護の増加。介護家族
のストレス緩和。虐待予防。
- 施設利用既得権益化・活動の閉鎖化
新入者が入りにくい状況の改善
- 困っている人の実態把握

■ 課題解決の方向性・理想の姿

- 地域性への対応 地域調査→今ある地域資源の
有効活用、地域サロン情報提供の充実など
- 地域コミュニティによる支援
地域で支援に参加
- 様々な地域参加機会の提供
趣味活動などゆるやかに、負担感なく関われる場。
- 交流・社交の場・居場所づくり 地域の様々
な人と話せる場 小規模多機能型事業所の活用等
- 地域人材の発掘・育成 特に拠点づくりにお
けるリーダー、新たな地域人材の確保など
- 小さな子供と高齢者の交流
双方に良い刺激となる
- 「逆介護」の仕組みの導入 要支援・介護状
態の改善に対するインセンティブ報酬など
- 情報提供・相談窓口の充実 ワンストップ
化。選択肢を増やす情報提供、包括センターの周知

■ 区内事例 調査・視察候補

- 居場所・活動・介護予防
- 土橋カフェ 高齢者の居場所。認知症対策
 - ミニデイ宮崎
 - 野川セブン 民間活用の拠点づくり
 - 長尾住宅いきいき組合
 - ふれあいサロンさつか 男子禁制食事会
 - 整形外科 自然発生・口コミの社交場
 - 男性ボランティア ニー会
 - ガーデニング活動 グループ同士の交流・連携
 - パワーリハビリ ボランティアによる展開
 - 体操による介護予防活動 民間施設事例
 - スポーツクラブ 水中歩行などリハビリ
 - はなみずき保育園と富士見プラザ(特養)の交流
 - よりそいノート 在宅要支援者の情報共有
 - 認知症カフェ 要介護者の外出機会、交流の場

の

第1回（仮称）魅力発信と次世代まちづくりの部会

日時：平成26年9月26日(金)18:00~20:10

場所：宮前区役所4階第3会議室

進行：佐々木副委員長（仮部会長）

1 出席確認

出席委員：佐々木（仮部会長）、葛西、大槻、本郷、山田、黒澤、滝本、小田、宮崎（計9名）

欠席委員：青柳、中里（2名）

2 部会での審議の進め方

事務局から説明があり、確認した事項

- ① 審議課題は任期の1年以内に絞り込みたい。
- ② 絞り込んだテーマに関するイベントや試行的取り組みの実施を目指す。
例：フォーラムへのイベント組み込みなど
- ③ 勉強会・事例見学会・アンケートなどの勉強会、現状調査を行う。
※できるだけ早め、第3回専門部会など。

3 審議テーマに関する意見交換、具体的な課題解決への提案検討

ワールドカフェ形式のワークショップで、4人と5名の二つのテーブルに別れ、4ラウンド制で審議を行った。

→P10のとおり意見集約

4 部会長の互選

出席者による投票の結果、青柳委員が最も得票数が多い結果となったが、当日欠席のため、後日改めて就任依頼・調整等行うこととした。

5 今後の日程・進め方

第2回 10月中旬以降で、部会長決定等を踏まえて再調整

※知りたい情報：自治会加入率（地域別）

→区全体では66.2%。地域別の加入率とその理由など可能であれば、事務局調査

第2回（仮称）魅力発信と次世代まちづくりの部会

日時：平成26年10月21日（火）18：00～20：10

場所：宮前区役所4階第1会議室

進行：佐々木副委員長（仮部会長）

1 出席確認

出席委員：宮崎、佐々木、青柳、小田、葛西、黒澤、滝本、中里、本郷、山田、（計10名）

欠席委員：大槻（1名）

2 部会長の互選

前回部会での投票結果を踏まえて、青柳委員に部会長就任を依頼。承諾された。

就任した青柳部会長が簡単なあいさつをした。

- ・様々な活動実績がある方々が多い中、少し戸惑いもあるが、宮前区が大好きなので、自分ができる限りのことはしたい。足りないところは皆様の協力をお願いいたします。

3 第1回（仮称）次世代まちづくりの部会摘録の確認

事務局から摘録の説明があり、前回の部会での議論、意見の振り返りを行った。

4 具体的な課題解決への提案を検討

主な意見をP9に要約。

5 今後の日程・進め方

■区内資源めぐりバスツアー（11月中・3コース程度で開催・参加できる日程に参加）

- ・区内の次世代に伝えたい資源、知りたい名所を、公共交通機関を使ってめぐる。
- ・行き先は宮前かるた全区版などを参考に、行き先を各委員から推薦する。事務局でコースや日程を調整の上、決定。

■第3回部会 11月下旬頃（バスツアー終了後） 日程は今後調整

6 その他

各委員から関係団体のイベントの紹介が互いにあった。

具体的な課題解決の検討 第2回部会での主な意見

○=新たな意見・指摘 ●第1回での意見・指摘等を補強する意見

宮前区の課題

- 世代間交流・地域人材の育成
 - ・参加するだけでなく、運営側になってほしい。人と人のつながりを作りながら進める。
 - ・祭りなど年数度ではなく、日々の生活の中で多世代が交わる場。
 - ・地域子どもたちを自分の子どもの感覚で見守ること。
 - ・町会を辞める人が増えている。入会のメリットを感じていない人たちの存在。
- 地域魅力UP・情報発信
情報発信の質の向上、ITの活用
- 災害発生時の助け合い
切迫した課題。地域の中学校との連携・日常からの関係づくり。鷺沼、たまプラーザ、あざみ野の3つの商店街で商店街街頭へのシール貼付け→スマホをかざすと地域情報や防災情報を得られる取組。
- 交通インフラの改善 長期的で必要予算大→区民会議には適さないかもしれないが、話合う場が必要。

課題解決提案の方向性やアイデアに関する意見

- 土産物プロデュース
外とのつながりにもなる。宮前独自に発信。
- 緑・農地の活用
豊かな緑や土地を活用した区の魅力のアピール。
- 地域動画の作成と区役所ロビーの画面での放映。
地域のお神輿、区内自然名所の空撮（ラジコンヘリ）、中高生と一緒に動画作成など
- 夏休み自由研究ブックの作成
次世代に伝えたい資源・伝統文化を子どもたちが学び、体験できるようまとめる。
- 宮前バスツアー
日帰りで区内をめぐる旅、土産物をつけてPR、ターゲット別にストーリー性のあるツアーなど

区内事例など（第1回であがっていなかったもの）

- ・こ文まつり…高齢者と子どものふれあい
- ・土橋小ふれあいマンデー…休み時間に高齢者と子供が交流
- ・平中学校の「地域に学ぶ」…年1回、今年は11月1日、琴や竹細工等の体験
- ・平小学校のフレンド神木入居者との交流（授業の中で）
- ・大塚町内会福祉部…電球交換、障子張替、草むしりなどの介護未満の生活支援

(仮称) 魅力発信と次世代まちづくりの部会 第1回(9/26)・第2回(10/21) 部会審議のまとめ

■背景・現況など

- 3地区の地域格差
交通の便、住民の増減や世代構成、地域活動などに地域格差
- 豊かな伝統文化・行事
- 活発な市民活動
500以上のボランティア団体など
- 地域担い手の不足
生産緑地・施設・地域活動など
- 高齢者施設が多い
- 豊かな土地・緑・住環境
- 外向きの生活圏
区外・市外に通う区民
区内に働く場が少ない?
- 公的予算投資が少ない
他区と比較して

■課題・課題解決への方向性など

- 地域活動魅力UP・情報発信
地域活動への一工夫・PRを自治会単位で
- 地域の特徴を活かし、競い合う
3地区の特徴を活かす。画一的でなくてよい。
- 交通アクセスの改善・広域まちづくり
鷺沼へのアクセス改善 広い視野も必要
- 伝統文化・行事の伝承
地域にある伝統・昔の事を次世代へ
- 自治会の活性化・情報発信
加入率向上、若い世代の取り込み、
- 人材コーディネート
人材ニーズと担い手のマッチング
区内で働く場・参加のきっかけづくり
- 世代間交流・地域人材育成
新旧住民のブレンド・次世代や運営側の育成
地域の子どもをみんなで見守る、日々・生活の中での交流
- 次世代中心のまちづくり
いきいきと楽しんで暮らせるまち
- 緑・農地の活用
担い手の不足・まちづくりの種
- 災害発生時の助け合い
若い世代不在時の避難活動など
地元中学校との連携

■理想の姿・課題解決の提案など

- コンパクト・コミュニティ
小地域(生活圏)のコミュニティ形成
- IT活用の情報発信
若い世代で、ツールの充実、自治会HPの充実
- 地域動画の作成・区役所ロビーでの放映
地域イベント、自然名所空撮、中高生と動画作成など
- 夏休み自由研究ブック
地域資源や歴史文化を学び・体験
- 土産物プロデュース 3地区対抗のコンテスト
- 宮前バスツアー
日帰り区内ツアー、土産もの、物語性
- 多世代居場所づくり
多世代交流・楽しむ場、中高生の活躍の場など
- 多世代学びの場づくり
子どもや若い親子に高齢者の知恵や伝統文化伝承

■事例

コミュニティバス	道親ネットワーク
土橋小ふれあいマンデー	こ文まつり
特色防災訓練	菅生手つなぎまつり
大塚町内会 福祉部	平中学校・地域に学
平小学校とフレンド神木の交流	

第5期宮前区区民会議

平成26年度区民会議フォーラムの企画について（素案）

- 目的**
1. 第5期宮前区区民会議の組織・活動・討議内容等の広報・PR
 2. 討議内容に関する区民意見の収集、パイロット事業（試行取組）の実施

日時 平成26年3月中旬の週末日中

- ▶ 候補日：3月8日㊤・14日㊤・15日㊤
- ▶ 所用時間は2時間（最少）～昼食をはさんで6時間程度（最大・複数企画を実施）
（参考）24年度は10：00～14：00、25年度は13：30～16：00に開催

会場 フォーラムの企画内容・日程等に合わせて会場確保

- ▶ 区役所会議室を仮予約済み。その他、出張所、市民館、活動現場など考えられる。
（参考）24年度は区内各地視察→区役所会議室、25年度は区役所4階全体

対象者 区民の皆様

- ▶ 企画内容に応じてメインターゲットを設定 → 広報・集客方法にも反映
- ▶ テーマに関わる区民、市民活動などの当事者／世代・所属など多様な方々 など

企画内容の例

- ① 区民会議の紹介・活動経過報告（形式や内容等は検討）**必須**
- ② 区民会議・審議内容に関する理解を深め、意見や情報交換をするための企画 **任意**
 - 例）講演、活動事例紹介
 - 例）活動体験、ワークショップ（参加型話し合い）
 - 例）パイロット事業（試行取組）

今期のテーマと絡めた企画案の例

高齢者部会 ①ふれあいカフェの開催・体験講座

②見守り活動体験（パトロールの体験）

次世代部会 ①宮前路線バスツアー（地域の魅力体験）

②C級グルメや宮前名産物の試食会

（参考）第4期区民会議フォーラム（区民会議の活動紹介・話し合いに加えたもの）

平成24年度…区内名所・市民活動現場をめぐるウォークラリー、宮前区クイズ、みやまえカルタ体験など

平成25年度…審議テーマに関わる市民活動の活動紹介展示ツアー、体験・交流プログラム（ゲーム形式）など